

4月、44名の新生を迎えてスタートした令和7年度も、あっという間に1学期が終了します。日々の学校生活はもちろん、修学旅行や社会体験学習、総合的な学習の時間など、様々な活動を通して生徒たちは力強く成長しています。保護者の皆様、地域の皆様には、本校の教育活動にご理解とご協力をいただき、ありがとうございました。引き続きよろしくお願いいたします。

1 学期終業式 学校長の話

学校長 河西 巧

今日で72日間の1学期が終業となります。各学級で振り返りなどを行ったことと思いますが、皆さんにとって1学期はどんな学期だったでしょうか。過ぎてみればあっという間の1学期だったかもしれませんが、1日1日の積み重ねは、確実に皆さんの成長につながっているはずです。まずは、そんな1学期の学校の様子を少し振り返ってみたいと思います。

まず、1年生の皆さんです。1年生の皆さんは、中学進学という大きな環境の変化がありましたが、中学校生活にもすぐに慣れることができましたね。さらに、毎日の学校生活や妙高自然体験学習等の学年行事を通して、改めて友達や自分のよさに目を向けながら、互いのつながりをより深めていく姿が見られました。1年生の皆さんの明るく、元気な姿は、学校に新しい風を吹かせてくれました。

2年生の皆さんは、昨年度の成長を土台に、一人ひとりがもっている力をさらに伸ばしてきているというのが私の印象です。日々の学習に向かう姿はもちろん、職場体験学習等の様々な体験学習を通して、新たな経験を積み重ねながら、自身の成長につなげていく着実な取り組みができました。また、様々な「ひと」とのかかわりを通して、自分自身を見つめ直す貴重な学びの機会にもなったと思います。

そして、3年生の皆さんです。生徒会や部活動で下級生をリードしながら、自分に任された役割に責任をもって取り組む姿を見させてもらいました。また、「修学旅行」という大きな行事もこの1学期にはありましたね。奈良、京都で過ごしたこの仲間との思い出はきっと忘れられないものになっていることでしょう。9月の紅葉祭に向けては、担う役割も増えていくと思いますが、引き続き学校のリーダーとしてよろしくお願いいたします。

さて、1学期の始業式には、高山中学校の学校教育目標「自ら学び 高みゆく」にかかわって、ユニクロの柳井さんの「『自分としてこうありたい』、『これがしたい』ということを描かなければいけない。人は高い目標があるほど頑張ろうと努力します」という言葉を取り上げながら、「皆さん一人ひとりが、なりたい自分の姿や目標をはっきりもつことが自らを高めていく出発点」というお話をしました。「めざす山が決まらないのに、山登りは始まりませんよね」という言葉を覚えているでしょうか。

この1学期中、廊下等に掲示されている皆さん一人ひとりの「1学期の決意」や「1学期の目標」を何度か読ませてもらいました。読ませてもらいながら、私が感じたことは、その目標を実現することを通して、なりたい自分の理想の姿というものが、一人ひとりの目標や決意にしっかり込められているということです。そして、この1学期の中で、その目標に向けて1歩ずつ歩みを進めていく皆さんの姿を目にしてきました。そんな皆さんの姿を見ながら、目標を立てて、それを実現していくことは、その人がなりたい理想の自分に近づいていく、そういう過程なんだらうと感じました。

皆さんは、改めて今、自分の目標や決意を振り返って、めざす山の頂上にどこまで近づけたでしょうか。そして、その山登りを通して、皆さん一人ひとりの中に、どのような力がついてきたでしょうか。ぜひ、終業という節目を迎えたこの時に、そんな見方で自分の目標や決意を振り返りながら、夏休みの目標や、さらには2学期の目標につなげてほしいと思います。

最後に、江戸時代末期である幕末に私塾の「松下村塾」を開き、のちの明治維新で重要な働きをする多くの若者に影響を与えた吉田松陰の言葉を紹介します。

「夢なき者に理想なし 理想なき者に計画なし 計画なき者に実行なし 実行なき者に成功なし 故に夢なき者に成功なし」

成功する人にはまず夢や理想があること、そして、その夢や理想の実現に向けて計画や1つ1つの目標を立て、そして、それを実行することが大切ということを伝えています。まずは明確な目標を立てること、そのことの大切さを改めて感じますね。

さて、明日からは32日間の夏休みとなります。事故や怪我のない充実した夏休みにして、8月20日の2学期始業式の日に、またここで全員が元気で集まれることを楽しみにしています。よい夏休みしてください。私の話を終わります。



1 学期を振り返って

1 年生代表生徒

僕が1学期を振り返って特に心に残っていることは「中学校での生活」と「定期テスト」です。

まず、「中学校での生活」は、最初はとにかく慣れようと必死でした。例えば2時間目の休みがないこと、制服と運動着の併用、1つの授業が50分なことなど、小学校と違うことが山ほどありました。しかし小学校と違うものの、これらはぼくにとって、いい刺激になりました。中学校の生活に慣れ始めた今では小学校の生活が遠い昔のように感じます。

そしてもう1つの「定期テスト」は、小学校の時になかったため、ぼくにとっては苦痛でした。もちろん小学校の時にもテストはあったものの、ここまでテストの範囲を必死に勉強したことがなかったので、とても大変でした。しかも勉強をやるまで「そこまで大変ではないでしょ」とぼくはテスト勉強をあなどっていました。しかしいざやってみると、かなりの量をやらないといけないことにまず意気消沈しました。そして一番は内容が難しすぎたことです。中学校の勉強は小学校とまた違う難しさがあり、かなり苦戦しました。しかしそこを何とか根性と気合で乗り切り、納得のいく点数が取れました。テスト勉強を頑張ればそれが結果につながることで、かなり自信がつけました。

中学校生活を振り返ってみると、僕たち1年生にとって大変なことが多かった1学期でした。2学期以降も大変なことがあると思います。大きな壁にぶつかることもあると思います。しかし中学生であることに誇りをもって、例えそれがどんなに大変なことでもとにかくチャレンジしてみて、乗り越え、成長していきたいと思います。



5月。1年生の授業を小学校の時の担任の先生方が参観された時の様子です。懐かしい先生方の姿に、みんなちょっぴり照れながらも元気に授業に取り組んでいました。

1 学期を振り返って

2 年生代表生徒

二年生へと進級した、この一学期を振り返っての反省は「一度やったことに満足して、油断してしまう」ことです。この反省が当てはまるのが大きく二つあります。

一つ目は中体連夏季大会についてです。私は卓球部に所属しています。一年生の夏季大会は一回戦敗退と悔しい結果に終わり、自分の実力不足を痛感しました。二年生での夏季大会では、その悔しさをバネに「一回戦突破」を目標に練習を重ねてきました。その成果が実り、一回戦を突破することができましたが、そのことに満足してしまい、二回戦は相手から1セットしか奪うことができず、敗退してしまいました。勝利したことの油断が、次の敗北につながってしまったので、二学期の新人戦以降は一戦、一戦を大切に、気持ちを切り替えることを大切に試合に臨んでいきたいです。

二つ目はテストに向けた学習です。テスト期間中の勉強では、前半は立てた計画に沿って着々と進めることができますが、後半になっていくと「ここまでやったから、もう少し後でやればいいや」と徐々に計画が遅れてしまい、予定取りに学習ができない教科がいくつもありました。結果的に目標としていた点数に届かず、テストが全て返却された後で「計画通りに進めておけばよかった」と後悔をしました。ですが、一学期のテストでは二回とも計画通りに学習が進まない教科がありました。二学期ではテスト期間最初に学習したことに対して油断せず、最後まで計画的に取り組みたいです。

これらのことから、一度やった自分の取り組みに油断せず、部活や勉強において目標を達成できるようにしたいです。二学期は一学期の自分を超越する成長ができるようにこの夏休みも意識した生活を送りたいです。



卓球部の練習風景です。卓球部は、中体連夏季大会北信地区予選（個人戦、団体戦）を勝ち抜き、7月19、20日に行われる県大会に出場します。

中学校生活最後の年の始まりとして、一学期は気を引き締めて臨もうと思っていました。しかし、実際は勉強への集中力が続かなかったり、部活との両立がうまくいかなかったりと、思い通りにいかないことが多くありました。一学期を振り返ると、最大の反省点は「受験生としての自覚がまだ甘かった」ことだと感じています。最初の頃は、まだ時間があるから大丈夫と心のどこかで思ってしまい、課題を後回しにしたり、家での勉強時間が短くなったりしていました。テストが近づくと焦って詰め込み、思ったような結果が出せず、後悔することもありました。特に苦手な数学では基礎の理解が不十分なまま応用問題に取り組んでしまい、何度もつまづいてしまいました。日々の積み重ねの大切さを実感する一学期だったと思います。

二学期は、本格的に受験勉強に取り組む大切な時期です。志望校合格という目標に向けて、まずは基礎を固め、わからないところはそのままにせず、一つずつ理解を深めていきたいと思っています。また、ただ問題を解くだけではなく、なぜそうなるのかを意識しながら学習に取り組み、確実に力をつけていきたいです。さらに、生活面でも時間を大切に使い、規則正しい生活を心がけていきたいと思っています。ついスマホを使いすぎてしまうことがあるので、時間を決めて勉強とのメリハリをつけるようにしたいです。

部活動では、最後のコンクールで絶対に金賞をとることを目標にし、どんな結果であろうと全力で楽しんで、全力で演奏することを大切にし、頑張りたいと思います。

人間関係でも中学3年生になると友達同士の関係性も将来の進路や成績のことが気になり、お互いを意識しすぎてしまったりで、ちょっとした言葉で傷ついたりすることもありました。自分のことで精一杯で、周囲の気持ちに気づけなかったことが何度かあり、もっと相手の立場に立って考えることと、感謝の気持ちや思いやりを言葉で伝えることを大切にしていきたいです。

二学期は自分を変える大きなチャンスにしたいと思っています。目の前の受験だけではなくその先にどんな高校生活をおくりたいか、どんな大人になりたいかという目標を持って、自分の未来に向けて努力を重ねたいです。中学校生活も残り半年あまり。楽しいことばかりではないけれど、仲間と一緒に過ごせる日々は、今しか味わえないかけがえのない時間です。紅葉祭や体育祭などの学校行事にも積極的に参加し、勉強だけではなく思い出もたくさん作りたと思います。笑ったり、悩んだり、ぶつかり合ったりしながら成長していける、そんな二学期にしたいです。過去の失敗を受け止めて、今できることに目を向け、受験という人生の大きな節目にしっかりと向き合いながら、やり切ったと思える中学校生活の締めくくりを迎えられるよう、これからも努力を続けていきたいです。



7月17日に行われた吹奏楽部の壮行会の様子です。自由曲「悠久の花」を堂々と演奏しました。7月26日（土）のコンクールに出場します。

連絡

◇明日から8月19日まで夏休みになります。別紙「夏休みの生活」に沿って夏休みを過ごしてください。事故等に遭われた場合や、不審者情報等があれば、学校へ連絡をお願いします。

◇土曜日・日曜日と8月13日～16日は、学校閉庁日により学校に連絡をいただいても職員はおりません。その間は、

高山村役場026-245-1100まで

ご連絡をお願いいたします。



暑い日が続き、学校敷地内の植物もぐんぐん成長しています。管理技術員の白田先生が日々手入れをしてくださり、生徒の皆さんも枝片付けのお手伝いをしてくれました。おかげで中庭がすっきりしました。



高山村立高山中学校

学校だより No. 2

令和7年7月18日 担当 百田

盛りだくさんの1学期が終了しました。



頂上を目指し、歩いた道を振り返る

そして次の一步への準備の夏休みに

〒382-0825

上高井郡高山村高井 4575

高山村立高山中学校



TEL 026-245-0948/050-3565-7305

FAX 026-246-5007

URL <http://www.takayama-j.ed.jp/>

